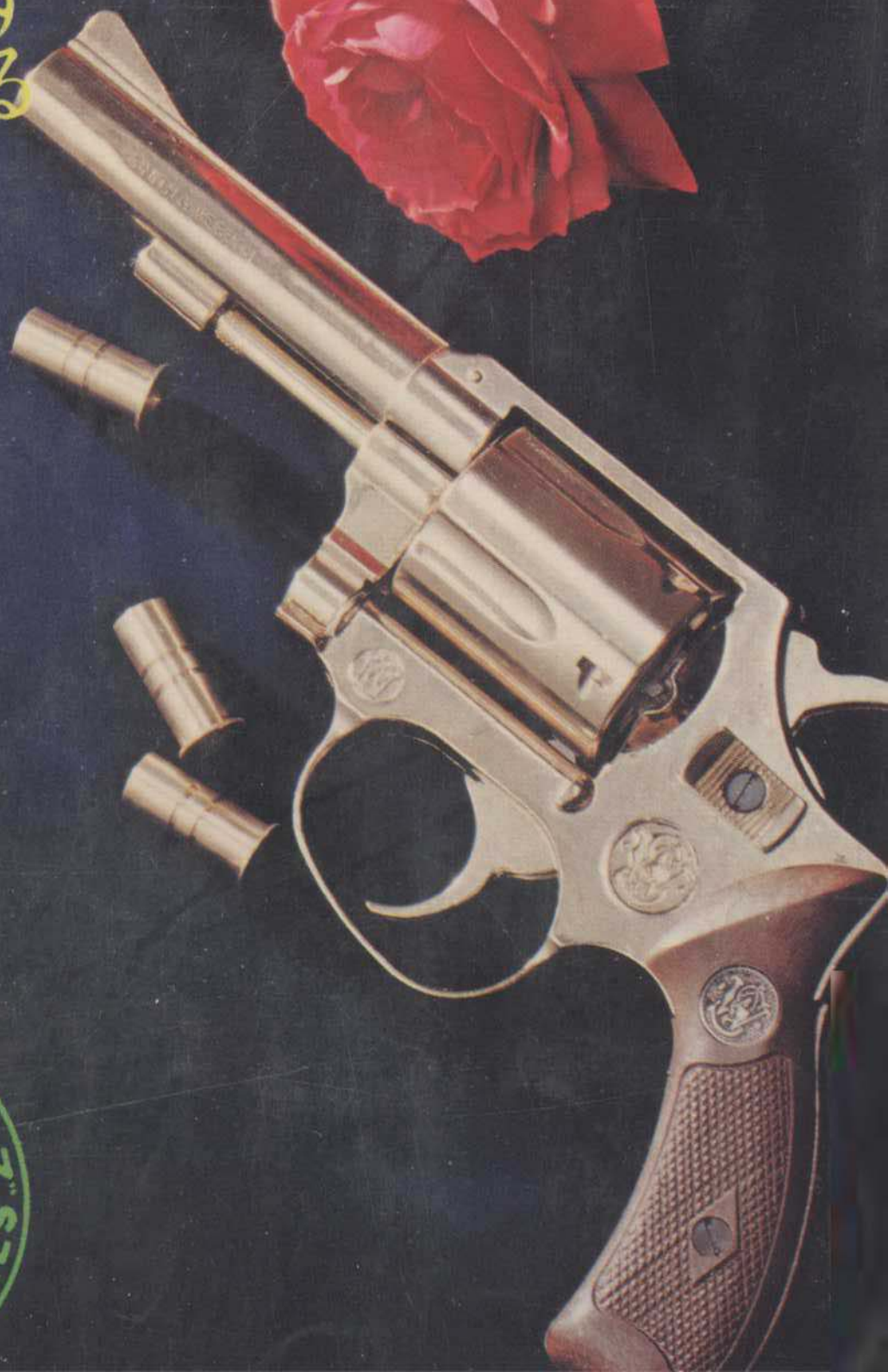


あなたの頭脳に挑戦する

世界の名探偵50人

推理と知能のトリック・パズル

藤原宰太郎





世界の名探偵50人 推理と知能のトリック・パズル

昭和47年9月15日 初版発行

昭和56年7月1日 71版発行

著者 ふじわらさいたろう
藤原幸太郎 ©1972年

発行者 岩瀬順三

発行所 KKベストセラーズ

〒101 東京都千代田区神田神保町2の10

電話 03(263)9121(代表)

振替 東京8-103083

<検印省略>

印刷所 東京ベル印刷

製本所 明泉堂

ISBN4-584-00204-5 本書の内容の一部あるいは全部を無断で複写複製（コピー）することは法律で認められた場合を除き、著作権および出版権の侵害となりますので、その場合には予め小社あてに許諾を求めて下さい。

あなたの頭脳に挑戦する

世界の名探偵50人

推理と知能のトリック・パズル

さい
藤原宰太郎

**BESTSELLER
SERIES**

ベストセラーシリーズ〈ワニの本〉



名探偵は死なず

推理小説の始祖E・A・ポーが一八四一年に名探偵デュパンを創造してから、約百三十年間、それこそ無数の探偵が輩出しました。皆それぞれ特徴のある多彩な人物たちです。

その中から、とくに際立った名探偵を五十人選んで紹介し、各探偵に一問ずつトリック問題を提供してもらって、読者に挑戦したのが本書です。ただし、探偵の個性にあったクイズを作るため、また、前著「探偵ゲーム」(当社刊)と重複しないために、問題のトリックは必ずしも原作に忠実ではありません。

選出の基準は、知名度、探偵能力、特異性、それに私の好みも、多少、加わっています。また外国の探偵は、現在刊行中のハヤカワ・ミステリー・ブックと創元推理文庫に翻訳されている作品に登場するものに限定しました。

定員がわずか五十人なので、選にもれた名探偵はまだ大勢います。彼らには気の毒ですが、次の機会に登場してもらおうことにします。

本書を執筆しながら感じたことは、捕物帳以外、日本には名探偵がいに少ないかということでした。外国の作家、とくに米英の作家は九十パーセントくらい、独自のレギュラー探偵を持っています。作者より、むしろ探偵の名前のほうがポピュラーになっています。シャーロック・ホームズやルパンは知っていても、コナン・ドイルやモーリス・ルブランの名前を記憶している人は少ないでしょう。作者は没しても、名探偵は永遠に生きつづけます。

推理小説の楽しみは、不思議な謎をとく知的興奮とともに、名探偵の活躍にあります。日本の作品が面白くない、魅力に欠けるといわれる理由の一つは、名探偵が不在だからです。とくに松本清張以来、日本では名探偵はほとんど消滅しました。

それに代わって登場したのが、平凡人が起こした犯罪を、平均的人間がさも現実のことらしく平凡な推理で解決する、いわゆる社会派推理小説です。

しかし、凡人が底の浅い現象的な事件を解決したところで、一体、なにが面白いでしょうか？ 二、三の例外的な傑作はあるにせよ、所詮、しょせんチャンピオンの出場しない二流試合にすぎません。深遠な頭脳のひらめきは、一かけらもありません。

悪の天才が知恵のかぎりを尽くして計画した完全犯罪の謎を、凡人ならぬ名探偵が卓越した頭脳と不死身の行動で、快刀乱麻のごとく、あざやかに解き明かしてこそ、推理小説のドラマがあるのです。

現代、はたして名探偵という存在は、もはや死滅して化石化した怪物だろうか？ いや、新しい時代には、新しいタイプの名探偵が必要です。魅力ある名探偵なくして、真の推理小説の隆盛はありません。

その意味で、私は名探偵の復活を提唱します。

なお、ここに登場する五十人の探偵は、捕物帳のヒーローと明智小五郎と幽霊探偵をのぞいて、一応、デビューした年代順に並べてあります。時代とともに、探偵のタイプも変わっていくので、これ一冊で、簡単な、しかし、ユニークな推理小説史にもなり、さらに「探偵ゲーム」と併読していただければ、単なる謎ときクイズだけでなく、推理トリックの入門書も兼て、一石二鳥の珍書と自負しています。

前著にひきつづき、今回も、畏友、岩瀬社長のご厚誼と、編集部印南和磨氏のお世話になりました。心から謝意を表します。

一九七二年の夏

藤原宰太郎

世界の名探偵50人●目次

12	名探偵の第一号 オーギュスト・デュパン●挑戦1/見えない凶器	14
17	不滅の名探偵 シャーロック・ホームズ●挑戦2/密室のなかの奇妙な餓死	19
24	科学捜査の生みの親 ソーンダイク博士●挑戦3/熱くて冷たい死体	25
30	若い事件記者 ジョゼフ・ルールタビユー●挑戦4/消えた犯人の足跡	31
36	神出鬼没の怪盗紳士 アルセーヌ・ルパン●挑戦5/危機一髪	38
41	正体不明の怪人物 隅の老人●挑戦6/消えた札束	43
48	思考機械 バン・ドゥーゼン教授●挑戦7/犯行時刻の謎	50
53	奇想天外な頭脳 ブラウン神父●挑戦8/見ぬかれた偽装工作	55

60	開拓精神旺盛な探偵		アブナア伯父	●	挑戦 9	/	カウボーイ殺人事件	61		
65		盲目の探偵		マックス・カラドス	●	挑戦 10	/	白紙の遺言状	66
72	江戸のベテラン鬼刑事		三河町の半七	●	挑戦 11	/	辻斬りの正体	73		
77	江戸のプレイボーイ探偵		人形佐七	●	挑戦 12	/	指名手配の男	78		
82	江戸のシャーロック・ホームズ		銭形平次	●	挑戦 13	/	身元不明の女	84		
87	灰色の脳細胞		エルキュール・ポアロ	●	挑戦 14	/	姿なき怪盗	89		
93	アリバイ破りの名人		フレンチ警部	●	挑戦 15	/	アリバイ写真の嘘	94		
98	東洋の英知		チャーリー・張	●	挑戦 16	/	凶器は天の矢	99		
104		名探偵の変身		明智小五郎	●	挑戦 17	/	死者が電話をかけていた	106
109	ペダンチックな趣味人		フィロ・ヴァンス	●	挑戦 18	/	消えた遺産	111		
116	聖者と呼ばれる義賊		サイモン・テンプラー	●	挑戦 19	/	脱獄のテクニク	117		
121	父と子の名コンビ		エラリー・クイーン	●	挑戦 20	/	用心深い未亡人	123		

127	ハードボイルドの元祖		コンチネンタル・オブ	●	挑戦21	/	引き抜き合戦	128
131	ゴシップ好きの老嬢		ミス・マーブル	●	挑戦22	/	死の花	132
136	パイプ党の鬼警部		メグレ	●	挑戦23	/	犬は知っていた	137
142	ツンポの名探偵		ドルーリ・レーン	●	挑戦24	/	高層ホテル殺人事件	144
147	行動派の弁護士		ペリー・メイスン	●	挑戦25	/	論破された偽りの証言	149
154	密室トリックの大家		ヘンリー・メルヴェル卿	●	挑戦26	/	雪の夜の密室殺人	155
160	門外不出の名探偵		ネロ・ウルフ	●	挑戦27	/	空白の決定的瞬間	161
166	凸凹探偵コンビ		クール&ラム	●	挑戦28	/	首つり自殺のトリック	167
171	正統ハードボイルド派		フィリップ・マローウ	●	挑戦29	/	まぬけな殺し屋	173
177	赤毛の私立探偵		マイケル・シェーン	●	挑戦30	/	奇妙なイニシアル	178
181	奇術師の探偵		A・マーリニ	●	挑戦31	/	スリは魔法使い	183
187	酔いどれ名探偵		ジョン・J・マローン	●	挑戦32	/	ハイボール毒殺事件	188

193	書生氣質の名探偵	金田一耕助	●挑戦33	／	巧妙な密室トリック	195	
200	暴力の英雄	マイク・ハマー	●挑戦34	／	殺し屋はお前だ!	201
205	稀有の天才	神津恭介	●挑戦35	／	風の証言	206
211	孤高の犯罪哲学者	リリュウ・アーチャー	●挑戦36	／	誘拐犯人の正体	212
216	軟派な私立探偵	シエル・スコット	●挑戦37	／	謎の盗聴装置	217
221	殺人許可証を持つ男	秘密情報部員007号	●挑戦38	／	恐怖のジェット機爆破計画	223	
227	アル中のルンペン探偵	カート・キャノン	●挑戦39	／	詩を書く女	229	
234	アリバイ崩しの鬼	鬼貫警部	●挑戦40	／	連続ピストル射殺事件	235
239	チーム・ワークの勝利	87分署の刑事たち	●挑戦41	／	ボウリング殺人事件	241
245	ブラックパワーコンビ	棺桶エドと墓掘りジョーンズ	●挑戦42	／	不思議な凶器	247	
251	グラマーなお色気探偵	メイヴイス・セドリッツ	●挑戦43	／	プレイボーイの死	252
255	美貌の女探偵	ハニー・ウエスト	●挑戦44	／	奇抜な記憶法	257

262	………	高校教師は探偵好き	ベン・ゴードン	●挑戦45	ネグリジェ姿で殺された女	263
268	………	ユダヤの若き僧侶探偵	ラビ・スモール	●挑戦46	密室毒殺トリックの謎	269
273	………	もめごと処理屋	トラヴィス・マッギー	●挑戦47	指紋のない女	274
277	………	世界一無能な迷探偵	ドーバー警部	●挑戦48	ヌード殺人事件	279
283	………	素晴らしい黒人捜査官	バージル・テイップス	●挑戦49	轢き逃げ犯人を探せ!	285
290	………	被害者は知っている	幽霊探偵	●挑戦50	幽霊の声	291

推理小説入門 ●これだけは知っておきたい

探偵の変装	29	密室トリック	35
電話トリック	47	脱獄トリック	59
アリバイ工作	71	岡っ引きの実体	81
犯人の意外性	97	奇抜な凶器	103

切手ミステリー	115	花言葉	135
犬を使ったミステリー	140	法廷ミステリー	153
犯罪の動機	159	ノックスの十戒	165
推理小説の種類	215	名作ベスト	10 233
短編ベスト	10 261	日本の作品ベスト	30 267
物知りクイズ	289		

カバー撮影／藤田寛

本文イラストレーション／三浦真澄 似顔／下島哲朗

トレース／大川修

名探偵の第一号〓オーギュスト・デュパン

作者〓エドガー・アラン・ポー●代表作「モルグ街の殺人」「盗まれた手紙」



世界で最初の推理小説は、米国の作家エド
ガー・アラン・ポーが一八四一年に発表した
「モルグ街の殺人」である。だから、それに
登場する探偵が、推理小説史上、最初の探偵

ということになる。

その名を、勲^{シュバリエ}爵士C・オーギュスト・デュ
パンという。

フランスの名門の生まれだが、たび重なる
不運で没落し、わずかな遺産で食いつないで
いる貧しい青年だ。家運を挽回する世俗的な
野心はなく、パリの片隅で書物を唯一の友と
して、ひっそり暮らしていたが、たまたま図
書館で知り合った青年と親しくなり、フォブ
ール・サンジェルマンのデュノ街三三番地に
ある古ぼけた空き家を借りて、奇妙な共同生

活をはじめめる。

夜の夢幻の世界を愛する趣味があつて、昼間は部屋のよろい扉を閉めきり、強い香料入りのローソクをともし、その神秘的な明りで読書と瞑想にふけるのである。

そして、真の夜が訪れると、パリの街を散歩して、大都会の妖しい光と影の中に精神的な興奮を求める。夜行性の耽美主義者だ。

彼は独特の分析的才能と豊かな想像力を持っている。散歩中、いっしょに歩いている友人の心理の流れを一つずつ的確に言い当てるほどである。

ある日、モルグ街で起こった奇怪な殺人事件に興味をおぼえて、新聞記事をこまかく分析し、そのデータから帰納的に推理して、みごと密室殺人の謎を解いたのである。

その初手柄で、一躍、彼は名探偵として有

名になり、パリ警視総監の信頼をえて「マリ―・ロージェの秘密」と「盗まれた手紙」の二つの事件でも、天才ぶりを発揮する。「盗まれた手紙」事件では、紛失した大臣の機密文書を、心理の盲点をついたあざやかな推理で発見して、五万フランの謝礼をもらう。破格の報酬だ。

結局、デュパンはわずか三つの短編でしか活躍しなかったが、彼の特異な個性や行動は、以後、無数に輩出したアマチュア探偵の原型になった。

しよせん、後輩の探偵たちはデュパンの模倣者であり、亜流でしかない。

挑戦



●オーギュスト・デュパンと知恵比べ

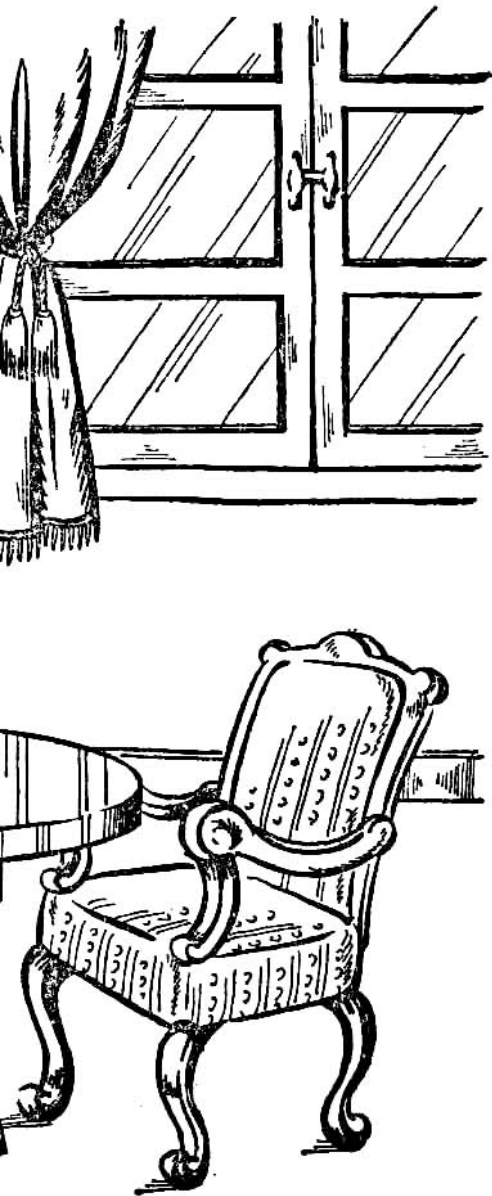
見えない凶器

春の昼さがりだった。

F伯爵邸の二階の客間で、令嬢がうとうと昼寝をしていると、犯人がそっと忍びこんできて、先のがった凶器で令嬢のノドを刺して殺した。そして、部屋から出ようとしたら、運わるく、執事が入ってきたので、犯人はすぐその場で捕まってしまった。

ところが、犯人を身体検査してみると、凶器を所持していなかった。室内も、くまなく捜したが、刃物はナイフ一本見当たらないのだ。

とすると、窓の外へ捨てたとしても考えられないので、調べてみたが、ちょうどその時刻、下の庭では庭師



が植木の手入れをしていて、窓は一度も開かなかつたと、はっきり証言したのである。

では、いったい、犯人はどんな凶器を使い、それをどこに隠したのか？

この事件を新聞で読んだオーギュスト・デュパンは、

「すぐ目の前にあるのに、気がつかないとは、警察もあきめくらだな」と、その新聞に出ている現場スケッチを見ただけで、ずばり凶器を発見したのである。

はて、名探偵デュパンの推理は？

